

社会で生きる、学生時代の金融体験

中学生、高校生、大学生が経済と株式投資について学びながら投資テーマやポートフォリオを

レポート形式で競うコンテスト「日経STOCKリーグ」。参加経験のあるOB・OGは、

当時の金融体験はかけがえのないものであり、社会人としての土台になったと口をそろえる。

最優秀賞に選ばれる決意
(第20回・2019年度 最優秀賞受賞)
中高生のための金融・経済学習コンテスト「日経STOCKリーグ」に参加する中高生たちの姿勢を大事にしているゼミに所属し、日経STOCKリーグに参加する前は、新聞などを読ん

実践的な学びを得るために
VOICE 03
(東京大学 首藤ゼミNO)

仲間と挑む格好の機会
VOICE 02
(神戸大学 羽森ゼミNO)

「生きた経済」を学べた
VOICE 01
(法政大学 長谷川ゼミNO)

金融の楽しさを実感
日経STOCKリーグへの参加を通じて金融の面白さを実感し、卒業後は銀行への就職を選びました。専門性をもつて業務に生かしたいという思いから、現在は保険会社に活躍の場を求め、自社拠点のガバナンスやリスク管理、内部統制に関する業務に携わっています。将来は全社的なリスク管理を担う立場を目指しており、内部監査に関する国際資格である「CIA(公認内部監査人)」も

知識を知恵に変える機会
第17回(2019年度)入選チームリーダー(13回目)
(法政大学 長谷川ゼミNO)
坂本 舞さん

日経STOCKリーグには2年連続で挑戦しました。2年目はリーダーとして、初年度の経験を生かし、進捗の管理などマネージャー的な仕事も担いながら上位入賞を意識したチーム運営に心がけました。メンバーが前向きに取り組める環境づくりが、結果につながったのではないかと感じています。

結果が自信につながった

金融業界を志したことや、現在企業のリスク管理に携わって

いるキャリアは、日経STOCKリーグへの参加経験が原点となっています。所属大学として初の入選を果たし、さらに2年連続で結果を残せたことは、実感で結果を残せたことは、就職活動においても大きな自信となりました。

また、金融や経済に触れる中で「投資をしないこと」自分が

スケになり得るという考え方身につき、現在は私生活でも

えとなっています。日経STOC

リーグは知識を生きた知恵

へと昇華できる貴重な機会で

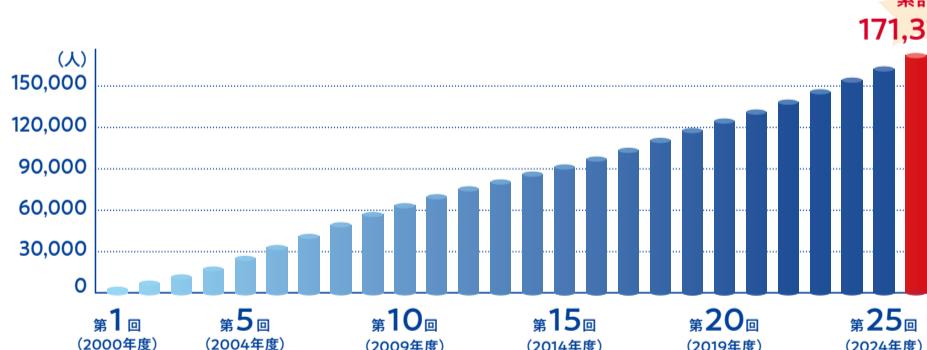
あり、ぜひ多くの学生・生徒に

挑戦してほしいと思います。

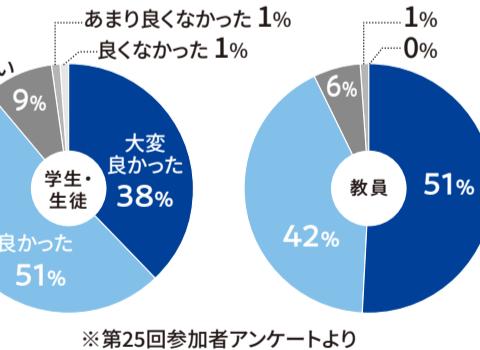


4半世紀の歴史をもつ日経STOCKリーグ。参加者は延べ17万人超で満足度も高い

参加実績 延べ人数【累計】



日経STOCKリーグに参加してみて



先輩たちの
体験談を
公開中



現場に足を運び
実際の困難知る

第23回(2022年度)
部門優秀賞・高校部門
(神奈川県立相模原
中等教育学校5年時)
池田 蒼さん

世界を体感できた
ニューヨーク研修

第16回(2015年度)
最優秀賞
(愛媛県立松山東
高等学校1年時)
杉田 ひな子さん

インタビューの
詳細はこちら



着眼点と 学びの姿勢に頼もしさ



野村ホールディングス
執行役員
サステナビリティ兼金融経済教育管掌
テーブル・サステナビリティ・オフィサー(CSUo)
鳥海智絵氏

野村グループは次世代を担う若者の正しい投資理解を促す目的から、日経STOCKリーグの特別協賛を第1回大会から続けています。累計17万人超が参加し、多くの人が大会での経験を生かして実社会で活躍している。昨今は探究授業の課題として活用いたたくケースも増えてきた。教員の皆さんにとっても、取り組みやすいプログラムとして発展させたい。審査においては、ボランティア審査員として当グループからアーティスト等を含めた190名の役員が参加している。プロの目から見ても、学生・生徒の着眼点が素晴らしい実務にいきいきとあります。学生らが社会課題に関心を持ち、楽しくて学んでいる姿勢に頼もしさを覚える。より多くの人が自分自身のお金に向かって、経済的な選択肢を持つ「ファインシャル・ウェルビーイング」を実現できるよう、引き続き金融経済教育の普及に努める。

